

## お知らせ

平成3年4月8日  
適々齋塾

やっと 本当に春が来たと思う人、やっぱりかと感じる事になった人、それにつれ『彼岸』という言葉が ニーチェの本を読みふけた若き日々の記憶と共に 合格発表当日に何故か 脳裏をよぎりました。

やっぱりかと感じざるを得なかった人は これから 内向きな3年間を過ごしてください。

私には 外で、世間で、何が起っていても 何も感じようとしない、感じられなかった長い年月があります。つまり、いずれ 歴史の1ページになるだろう世間の動きが 自分の歴史には 認められない、認めたくない屈折した時期、愚かな者どもの時代になったものだとして 日々の変遷を 一体感を持つことなく否定した時期がありました。

ですから、その頃 流行った歌をよくは覚えていませんし、腐ったつまらない時代の低劣な産物として 今でもどこか否定しています。そんな空白を持っていました。失意の日々でした。

その頃、私にこう論してくれた、又、手術を執刀してくれた耳鼻科の先生がいました。

「人間には どこか一つ 人には触れられたくない、思い出すだけで『わーっ』と思わず声を上げてしまう部分、傷痕があり それにしょっちゅう悩まされ 克服していかなければいけない部分があった方がいい。」

勿論、当時の私には その言葉の意味を ましてや恩人の温かみをわかる人間的なゆとりはありませんでした。又、実際には 素直に考えてもいなかったと思います。

自分の持って生まれた才能のみにまかせ 『克服』という言葉すら知らなかった私にとって そんな精神状況は 今から考えても 為になったのか、それとも やはり只の回り道にしか過ぎなかったのか 今でも判りません。

ほぼ、予想通りの合否の結果でした。

受かるべくして受かり、落ちるべくして落ちています。でも、それは ただ、今までのただ、今日現在までだけの修了書でしかありません。

もう一度、書きます。心ある人は 内向きに 3年間を過ごしてください。学歴という事があるならば それは最終学歴です。

最後に 私の一番好きな言葉を添えます。

『よしどうであれ、人生は良いものだ。 ゲーテ』

### 平成3年度の高校入試の結果

〔公立〕 向陽	1名 (推薦)	愛知商業	1名 (推薦)
名西	2名 (そのうち推薦1名)	名古屋商業	1名 (推薦)
北	2名	愛知工業	1名
春日井南	1名	小牧工業	1名
山田	4名 (そのうち推薦1名)		
春日井西	1名		
南陽	1名		

〔私立〕 名短附	1名 (推薦)	※1人の塾生が2つ以上の高校で合格している場合には合格して なお且つ入学する高校名のみを記載しました。
春日丘	1名 (推薦)	従って、重複しておりません。
同朋	1名 (推薦)	
瑞穂	1名 (推薦)	